



ソフトバレー



卓球



バドミントン



マレットゴルフ

町会交流 スポーツ大会

岐路に立つ

町会交流スポーツ大会

町会交流のスポーツ大会を6月25日に開催しました。募集方法はコロナ禍の昨年と同様に町会ごとのチーム分けではなく、応募してくれた人達を適当なチームに分け、各競技を楽しむ方法としました。競技内容は、例年実施しているソフトバレーボール、卓球、バドミントン、マレットゴルフ

に加え、小学生低学年から楽しめるキャッチバレー（ドッジボールとバレーボールを合わせたような球技）の5種目です。コロナ感染症が5類に移行され活動しやすくなったことや、対象年齢を小学生低学年まで広げたことで、昨年以上の参加を期待していましたが、しかし、結果は昨年同様、ほとんどが大会運営の関係者やサポートしてくれるスポーツクラブのメンバーで、一般参加者は十数名でした。コロナの影響で一旦離れて

しまった住民の関心は、簡単には戻らないかも知れません。また、時代の変遷とともに、個々のライフスタイルや価値観、運動要求の実現方法も変化しているようです。今後の町会や地区でのスポーツ大会の内容、さらに行事や町会運営など、一度立ち止まって抜本的な見直しが必要な時期にあるのかも知れません。



キャッチバレー

著しく発展した日本の火縄銃製造技術ですが、江戸時代に入り戦いの必要がなくなると、武家諸法度の発令とともにその進化を止めてしまいま

火縄銃は、ご存知の通り天文12年（1543年）に種子島に漂着した異国人から伝わったと言われていきます。その後、刀や槍、弓矢とは格段に違う威力を持つ火縄銃の複製を試みますが、どうしても複製できない仕掛けが一箇所ありました。それは、尾栓という銃身の最終端にあるネジでした。1年後、再来日したポルトガル人から、ネジの製法を教わった日本は、優秀な刀鍛冶が多く存在していたことから、発祥の地である欧州のどの国よりも火縄銃を多く所有することとなります。

松原地区公民館から路線バスで移動して松本城で開催された松本藩古流砲術演武を見学しました。演武後、松本城鉄砲隊の赤羽豊副隊長から火縄銃の仕組みや歴史について教わり、戦法の変化に止まらず、お城の建築方法や文化的にも火縄銃が大きく影響したことを知りました。

古流砲術演武での学び (5/21)



火縄銃演舞

地球上では今なお各地での紛争が絶えません。先人に習って、武力行使に依らない紛争解決の知恵を日本から発信できれば、とても素敵ですね。「どうする日本！」

人々を殺傷する革新的な兵器である火縄銃でしたが、太平の世を実現したその後の日本（江戸時代）では、銃身に象嵌や蒔絵を施した工芸美術品へと比重を移し発展していきま



赤羽副隊長

まつばらのできごと

5/9 美ヶ原ウォーキング

グリーンシーズン目の美ヶ原の台上を歩きました。

天候に恵まれ、北アルプスから浅間山までの大パノラマを五感で感じることができました。

自然に囲まれた空間では日々のストレスを忘れ、思わず笑みがこぼれます。



6/1 奈良井宿ウォーキング



日本最長の宿場町・奈良井宿を歩き、当時の暮らしに思いを巡らせました。江戸時代の面影を色濃く残した景観は、どこか懐かしさを思わせます。立ち寄った物産館では、木曾漆器作品を見学し、中信地区のものづくりに対する情熱を感じました。



6/23 ホタル学習と観察会

内田公民館共催の「ホタル学習と観察会」が行われました。

学習会の時点ではあいにくの雨でしたが、ホタル観察会になると雨は止み、塩沢川沿いには「ピカッ」と光るホタルを見ることができ、子どもたちは大喜びでした。

講師の先生のお話を聞き、積極的に質問をする姿に、人間と生物・植物が共存できる未来を感じました。



現在の会員数は、20名で見学・体験どちらも大歓迎。(月額1,000円) 毎週火曜日午前9時30分から地区公民館大会議室で練習中。

平成24年に公民館のスポーツ吹矢体験をきっかけに松原支部が発足。いまでは(一社)日本スポーツウエルネス吹矢協会に認可され、公認指導員2人を有するまでに成長。サークル内で大会を開催、市の大会へ参加し腕を磨くほか、納涼会・忘年会・新年会をはじめとする親睦を大事にしている。代表の齋藤正さんは「6m、10m先の的に向かって吹くための腹式呼吸はウォーキング以上の効果が得られる。また、昇段試験を受け自分を高められることができるのがよい。強制はしないので、楽しんでもらいたい。」とのこと。

アルペン松原支部

平成24年に公民館のスポーツ吹矢体験をきっかけに松原支部が発足。いまでは(一社)日本スポーツウエルネス吹矢協会に認可され、公認指導員2人を有するまでに成長。



現在の会員数は、18名で初心者も大歓迎。(年会費1,000円) 毎週水曜日午後1時から地区公民館講座室で対局中。

松原囲碁クラブ

平成22年10月に囲碁好きが集まって緩やかに発足。サークルの会員間で、技術向上と親睦を深める大会を不定期に開催している。



サークルの紹介



からくり時計

我が家には2匹のネコが居ますが、雄ネコはる君(8歳)の事を書きたいと思います。少し前に私は階段で足を踏み外し捻挫をしたのですが階段に手すりがない為、手を階段について上がっていました。いつもなら後ろから一気に追い越して行くはる君ですが、いつもと違う私の姿を見て途中で止まり、私を振り返ってずっと見ているのです。そして私が同じ段まで来るとまた数段上がり待っていて階段を上がりきるまでそんな状態でした。当然喋りませんが「お母さん大丈夫？」と言っている様に思いました。結構長い間その状態が続き本当に私を心配してくれていたんだなあと愛おしくなりました。ことを言えない動物ですが、時に子供のように後追いをしたり玄関でずつと泣いていたり、お風呂に入れば洗濯機の上で待っていたり、寝る前は必ず抱っこをして甘えて来ます。毎日同じ事の繰り返しですが、とても癒されます。もう1匹の雌ネコねねちゃん(10歳)は、はる君の様な事はしません。それぞれ性格が違います(編集委員)が、とても癒されます。